

## 入試の女子枠は何のためにあるの？



### 「女子枠」について

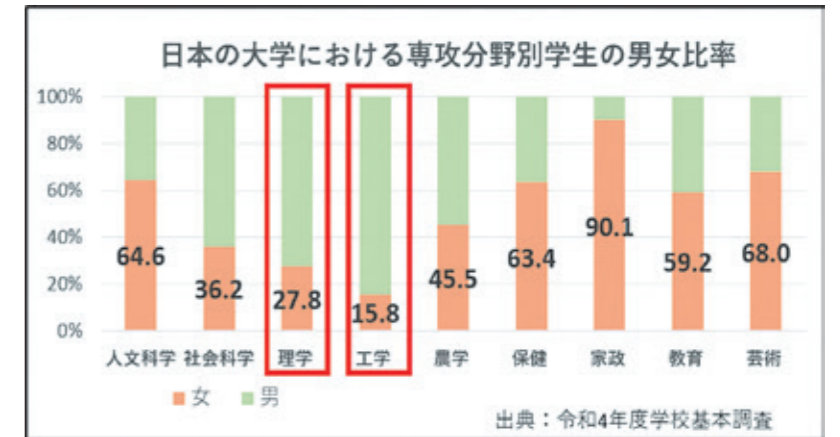
「さまざまなバックグラウンドを持つ人がぶつかり合うことでイノベーションは生まれる」と考えられている中、近年、大学において一部の理工学部では、入試において「女子枠」を設け女子学生に入学してもらおう、といった動きが広がっています。

「女子枠」の入試は、その大学に入学することへの意欲が問われる「総合型選抜」や、学校の成績重視の「学校推薦型選抜」にて設けられています。一方、募集枠の9割ほどの学生を選抜する、学力重視の筆記試験である「一般選抜」では、男子も女子も基準点に変更はありません。

### 「女子枠」導入における背景

こういった動きがある背景には、理工学部的女子学生の比率が関係しています。文部科学省の調査によると、令和4年度の全国の大学において、各学部に関する学部生のうち女子学生の比率について、理学部は27.8%、工学部は15.8%となっており、ほかの分野と比べても低い割合となっていることがわかります。

また、2021年にOECD（経済協力開発機構）が、加盟各国の大学など高等教育機関の卒業・修了生に占める女性の割合を調査した結果によると、日本はOECD平均を大きく下回っていることがわかりました。「自然科学・科学・統計学の分野」ではOECD平均52%に対し、日本は27%、「工学・製造・建築の分野」ではOECD平均27%に対し、日本は16%となっており、いずれも加盟38か国中、最下位というデータが出ています。



自然科学・科学・統計学の分野		
1	ポーランド	65%
2	スロバキア	63%
3	フィンランド	62%
4	エストニア	61%
5	イタリア	59%
OECD 平均		52%
38	(最下位) 日本	27%

工学・製造・建築の分野		
1	コスタリカ	42%
2	アイスランド	40%
3	ギリシャ	35%
3	ニュージーランド	35%
5	コロンビア	33%
OECD 平均		27%
38	(最下位) 日本	16%

### 多様な学生が学びあう環境づくり

このような状況を受け、文部科学省では令和6年度大学入学選抜実施要項において「多様な背景を持った者を対象とする選抜」など入試方法を工夫することが望ましいとし、例として「理工系分野における女子等」を挙げています。しかし、「女子枠」の導入については、賛成の意見ばかりではありません。各大学が女子枠を導入する際には、導入の意義と性差別にならないことの合理的な説明が必要となり、社会の理解を得る必要があります。我が国での理工学分野でのジェンダーバランスはまだ道半ばですが、理工系分野における女子の進学を積極的に支援することによって、多くの視点や感性を取り入れ、新しい感性のもとでのイノベーション創出が促進されていくのです。

● 問い合わせ先 政策企画課 政策企画係 ☎68-2211 (内線338)

## はつらつトレーニング

～7～8月開始生 募集のお知らせ～

● 申し込み・問い合わせ先  
利根町保健福祉センター いきがい支援係  
☎68-8291

- **対象者** 65歳以上で利根町に住所を有する方 運動制限のない方（介護保険事業対象者・要支援・要介護の方は除く）※今回初めて参加する方を優先させていただきます。
- **定員** 10名
- **申し込み受け付け** 5月21日(火)・22日(水)（午前9時～午後5時）に、利根町保健福祉センター窓口または電話で受け付けます。※申し込み人数が定員を越える場合は、抽選になり、利用決定者へは電話連絡いたします。
- **利用開始までの流れ**
  - ① 説明会への参加（1時間30分程度）
  - ② トレーニング開始日の決定
- **はつらつトレーニングについて**
  - **内容** 5つのトレーニングマシンを使ったトレーニングです。加齢による衰えやすい筋力やバランス能力を鍛えます。
  - **利用日時** 月～金曜日午前中の予約時間内（各40～50分程度）
  - **利用回数** 週1回程度（毎回予約制）※曜日の固定はできません。
  - **利用期間** 令和7年3月まで
  - **利用料** 100円/1回



## 認知症地域支援推進員のつばやき No.69 ～たくさんの人と関わろう～

新型コロナが5類になり、日常を取り戻しつつあります。マスクを外し周囲の人たちの顔が見える環境は、認知症の人だけでなくどんな人にも安心感を与えてくれます。人と人が同じ空間で遠慮なく大声で笑ったり、話したり触れ合ったりすることが「大丈夫」とみんなが思える環境が当たり前になってきています。認知症の予防や進行を遅らせるためにも、人との関りはとても大切です。誰かと関わりつながることを、たくさんして欲しいと思っています。どこに行けばよいのか迷っている人は、まずはご近所で開催している集まりに行ってみてはいかがでしょうか？

### 私たちはここにいます！

認知症地域支援推進員配置施設

- 利根町地域包括支援センター ☎68-2211
- 利根町保健福祉センター ☎68-8291
- 複合福祉施設 響 ☎61-8500
- 介護老人保健施設もえぎ野 ☎84-6081



### 「プラごみ問題」 その5

今回は、「分別回収」のお話しです。

プラスチックごみをごみとしないで効率よくリサイクル（再生利用）するために、自治体の分別回収や事業所の自主回収などの動きが進んでいます。皆さんの積極的な協力が不可欠です。

### 【ここに注目！】分別回収できるプラスチック

- ◆ すべてのプラスチックがリサイクルできるわけではありません。町のごみの出し方や事業所のルールに従いましょう。
- 主にプラマークのついたプラスチック製の「容器包装ごみ」は資源としてリサイクルできます。商品そのものは対象外です。
- PETマークのついたペットボトルは、容器包装ごみとは違う分別回収となります。

